

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

項目コード	882402	882602	888802
検査項目名	ω-5 グリアジン	カシューナッツ	マラセチア(属)
容器・検体量	分離剤入り汎用容器 1.0ml		
保存方法	室温		
検査方法	FEIA法		
基準値	0.34 UA/ml 以下		
所要日数	4～5日		
検査実施料	各110点([D015]血漿蛋白免疫学的検査「11」特異的IgE)		
検査判断料	144点(免疫学的検査)		

### 受託開始日

2011年9月1日(木)

(注) 裏面もご覧ください

(株)チューケン 日本医薬中央研究所

熊本支社: 熊本市東野1-3-38 TEL: 096-360-3065

URL: <http://www.chuken-group.co.jp>

●  $\omega$ -5 グリアジン

小麦は重篤な即時型アレルギーを引き起こす食物として、卵、乳製品に続いて3番目に多いアレルゲンとして知られています。また、食物依存性運動誘発アナフィラキシーの原因食物としては小麦が最も多いと報告されています。近年、小麦に40種類以上あるといわれるグルテンの一成分である $\omega$ -5 グリアジンが主要な原因物質であることがわかってきました。さらに、同時に小麦やグルテンを測定することは、小麦アレルギーの病態解析に大変有用です。本検査にはリコンビナントにより製造された $\omega$ -5 グリアジンが抗原として使用されています。

● カシューナッツ

ピーナッツを始めとするナッツアレルギーは即時型食物アレルギーの2%程度を占め、比較的少ないとされませんが重篤になることが多く、死亡例も報告されています。カシューナッツは油などで加工されそのまま食されるほか、中華料理の具材などにも使われる比較的ポピュラーなナッツです。ナッツ類は非常に少量でアレルギー反応を引き起こすため、厳重な管理が必要です。また他のナッツ類との相関性が比較的低いとされているので、ナッツ類にアレルギーのない人にも検査をお勧め致します。他のナッツ類(クルミ、ハシバミ、ブラジルナッツ、アーモンド等)と共にカシューナッツを検査することは、ナッツによるアレルギー患者の原因検索が可能になり、アレルギー反応を予防するために大変有用と考えられます。

● マラセチア属

マラセチア(*Malassezia*)はピティロスポリウムともいわれ、ヒトや動物の皮膚などに常在する酵母様真菌の一つです。マラセチア属として現在10種類ほどが確認されており、癬風や脂漏性皮膚炎などの皮膚疾患や乳幼児の敗血症の原因菌として知られていますが、アトピー性皮膚炎の原因や増悪因子となることがあります。本検査の試薬には*M.symphodialis*, *M.restricta*, *M.globosa*の3種類の抗原が含まれています。